

いいまち 議会だより

2023年10月15日

第104号

発行：長野県飯島町議会



〈特集〉議員研修 **中心人物の情熱と行動力!** p2~3

〈特集〉令和4年度
決算評価 **どうなった飯島?** p4~5

9月定例会 本会議 **紛糾した光をそそぐ関連事業** p8

写真／日方磐神社秋祭典委員会
日方磐神社秋祭り

飯島町議会の情報を発信中! ▶



ホームページ



X (旧Twitter)



f Facebook



@ Instagram

中心人物の情熱と行動力!

飯島町議会では「先進地を視察し、飯島町の町づくりに生かす」という目的のもと、7月23日～25日に九州地方へ視察に行きました。



昭和の町

商店街活性化の先行事例である大分県豊後高田市の「昭和の町商店街」を視察。

昭和40年代には非常に栄えた商店街だったが、郊外に大型ショッピングモールができたことで衰退した。その打開策として、他の町のような再開発をしないで古い建物を利用し、昭和の町並みを再現した。

これにより、昭和世代だけでなく平成世代を含め、観光客が



年間27万人も訪れる一大観光スポットになった。まさに「ALWAYS 3丁目の夕日」を再現したような場所で、昭和世代にとっては懐かしく、平成世代にとってはレトロを感じられる場所なのだろう。

飯島町にも田舎らしさをアピ

ールした独自のスタイルを作るべきと感じた。



グリーン発電 大分



木質バイオマス発電※の参考に大分県日田市にあるグリーン発電大分を視察。

グリーン発電大分は、日田市周辺には多くの山林があり、間伐された木材は利用先がなく、多くが放置されていた。その間

伐材を利用して電気を作り、近隣に売電する事業を開始。環境省から表彰を受けた。今では、市内の公共施設に電力が供給され、まさに「電力の地産地消」を実現している。

飯島町も現在、町内の山林を利用したバイオマス発電を計画しており、今後の参考にしたい。

『工場建設時に近隣住民へ説明会を実施したが、実際は説明ではなく説得した』と石田社長。トップが「どうしても事業

を実現させるんだ!」という決意で取り組む姿勢が大事。
※木材を燃焼させて発電すること。



多文化共生の参考に福岡県の荻田町を視察。

外国人住民も地域社会を構成する一員であるという視点に立ち、日本人と同様に安心して生活できる環境を整備すべきと考え、令和4年に「多文化共生推進プラン」を策定。平成29年当時、外国人が急増したことにより、様々なトラブルが発生した。外国人を対象にアンケート調査を行った結果、原因のほとんどが「コミュニケーション不足」であり「たくさんの日本人と友達になりたい」と思っていることがわかった。

そこで、多文化共生の第一歩

として、「やさしい日本語教室」や「22言語に対応した外国人ワンストップ相談窓口」の開設を行った。多文化共生担当者の存在が大きく、トラブルが減少し、若い外国人の協力を得るこ

とができ、人手不足のため中止していたお祭りが復活した。

飯島町も荻田町と同様に人口の約3%が外国人であり、多文化共生を進め、町の活性化につなげたい。



ウーマンメイク

レディースファーム※1の参考にするため、大分県国東市にあるウーマンメイクを視察。

ウーマンメイクの従業員25名全員が女性。令和2年に「内閣府女性のチャレンジ賞」を受賞し、令和3年に「APEC BEST AWARD※2 日本代表」に選出された。

水耕栽培によりレタスとほうれん草を栽培している。平山社長が、水耕栽培を選んだのは「虫がいない」・「汚れない」・「ネギは服に臭いが付くからイヤだ」などとの理由から。年々売上を伸ばし、女性の雇用を増やしている。また、他社の協力により創業時から独自の販売ル



ートを確保していた。

飯島町では、現在、レディースファームの事業補助を予定しており、今後の参考にしたい。

※1 女性が主体となって運営が行われている農業・農園

※2 アジア太平洋経済協力主催の女性起業家コンテスト

まとめ

どの視察先でも「ものすごくやる気のあるリーダーがいる」ということを感じた。事業を推進していくためには事業内容に加え、リーダーシップのある人材が大切であると強く感じ、町に反映をさせたい。

令和4年度 決算評価！

どうなった飯島？

令和4年度に実施した事業に対して決算並びに行政評価書に基づいたアンケートを全議員対象に実施しました。(12人中12人の回答)

各項目につけられた点数(全て100点満点)の平均点を掲載しています。

〈〉は、各コメント者の点数 □ は、平均点

町の財政及び運営状態

最高点：89点

68.4点

- ・基金の状況は、町の財政規模からするといずれも財政環境の変化への対応等の確保はなされている。〈85点〉
- ・光をそそぐ住宅補助金や飯島流ワーケーションに重きを置いた財政運営。コロナ禍での経営難の事業所や、生活費を切り詰めて暮らしている住民への心配りと比較すると、評価できないところがある。〈60点〉

町の財政状態／財政調整基金(不測の事態に対応するための積立金) 10億6,530万円(1.7%減)

人事・総務関係

最高点：88点

59.8点

- ・管理計画には沿っているものの、部署によってはマンパワー不足を感じる。場合によっては見直しも必要では。〈88点〉
- ・人事に伴って人員が不足しているところもある。〈40点〉

職員状態／町職員の高ストレス割合が昨年度よりも増加

子育て支援・公共施設関係

最高点：90点

72.9点

- ・コロナ禍で施設の利用を控える状況でも、子育ての相談事業などしっかり行なっている。〈80点〉
- ・概ね良いが、公共施設の老朽化による不具合など、点検整備が後手に回る例が見受けられる。〈70点〉

主な事業実績／家庭相談員などへの相談件数 92件(前年度比30件増)

保険・医療・福祉関係

最高点：90点

80.4点

- ・毎年、複数回健康診断が実施され、不妊治療のサポートも手厚い。県内で唯一、引きこもりサポーター制度を設けている点は高く評価。〈90点〉
- ・高齢者(独り暮らし)支援に力を入れて欲しい。精神面のケアも。〈70点〉

主な事業実績／国保の特定検診受診率 64.5%(長野県全体 45.6%)

令和4年度決算の総合では何点ですか。

総額65億4,000万円

- ・リニア開通後の町を展望した政策にウエイトがおかれすぎて、目の前の課題に向き合う政策や必要な体制整備が後手に回っている。〈60点〉
- ・子育て支援・商業施設誘致・人口増プロジェクトでは前進が見られる。人口減少には歯止めがかかっていないため、更なる努力が必要。〈70点〉
- ・全体を通して適切な予算執行がなされたと考える。コロナ禍脱却の兆しが見えた後半、振り返ればもう少し大胆な施策が打てたのではないかと考える。〈90点〉

65.8点

最高点：90点
(前年度：71.5点)

商業・企業誘致関係

最高点：88点

56.5点

- ・各支援補助(復興券含む)を評価する。〈75点〉
- ・企業支援としての施策があまり効果的なものが無かった。〈20点〉
- ・誘致企業の転出や、誘致した企業の町に対する不信を払拭できない姿勢は、企業と共に町を発展させていく弊害となり評価できない。〈50点〉

主な事業／くらし復興券第4弾・第5弾・飲食
応援券 2億2,100万円

アグリノベーション2030関係

最高点：88点

44.9点

- ・新規就農者は増えているが、支援が大規模農業者向けになっている。小規模就農者への支援を強く希望する。〈50点〉
- ・町民に説明した事業が絵にかいた餅になっている。バイオマス発電からバイオマス熱利用になっている。レデースファームも女性雇用創設が目的だと厳しい。女性で農業参入を志す人の支援に注目したい。〈31点〉

主な事業／スマート農業化支援補助金 2,928万円

人口増プロジェクト関係

最高点：88点

49.4点

- ・魅力ある街ならば自然に人は集まる。200万円の大金をかけて人を呼ぶのはどうかと思う。100万円で十分。〈70点〉
- ・近隣と金で人口を奪い合う腐敗路線に転落〈10点〉
- ・お金をかけずに県外から多くの方を定住に導いた実績がある。再度考える必要がある。〈30点〉

主な事業／光をそそぐ住宅関連補助金
1億1,955万円(新規事業)

道路・水道整備・防災対策関係

最高点：95点

74.2点

- ・道路維持補修費は、当初予算を大きく超えて住民要望に応えている。水道事業は、水道水を守る職員の努力を評価する。浄水場の機器の老朽化へ備える必要があり、中川村への供給に期待。〈70点〉
- ・少ない職員で苦勞あり。下水道施設の維持管理に課題がある。防災は、概ね良好。〈70点〉

主な事業／道路維持補修費
7,275万円(対前年比 7.6%増)

光をそそぐ場所はほかにも？

総務産業委員会は、令和4年度決算案件3件・令和5年度補正予算案件3件の事業調査を行った。調査の時に出了た主な内容は以下の通り。

令和4年度決算

一般会計

◆総務課

問 会計年度任用職員の公務災害は2倍である。危険な仕事をさせている実態はないか。

答 偏った仕事はさせていない。

◆企画政策課

問 ①旧田切保育園②旧丸井醸造跡地の対応は。

答 ①生糸織物の継承は守らなければならない。②情報発信の丁寧な対応で効果を上げたい。

◆産業振興課

問 融資のメリットは、県と町でどちらが良いか。

答 町は概ね1,000万円以内まで、県は1億円以内。利子補給の割合は町の方が良い。

◆建設水道課

問 国土調査と空き家で相続放棄により困った事例はないか。

答 墓地で所有者不明が数件あった。空き家では、放棄は手続き中を含め4件ある。

◆地域創造課

問 町から交付金を受けた組織で繰越金が出ている、決算を確認しているか。

答 組織として何かあった時のために残しておきたいとのこと。町として検討する。

問 移住者は県内が多いのか。

答 上伊那が多いと認識。

問 ワークーションでの企業訪問による成果は。

答 検討中との回答が多い。

水道事業会計

問 取水の砂払い作業を令和4年は1人で大変危険。

答 取水の砂払いなどの危険な作業は2名で、安全帯も利用。

問 敷設替え工事、今後の改良の見通しは。

答 年間3,000～5,000万円。

令和5年度補正予算

一般会計

◆総務課

問 南信交通災害共済を全町民加入とした理由は。

答 南信地区21市町村のうち8町村が全町民加入となっていることを勘案した。

問 無線LANルーターは未設置の自治会への対応か。

答 伊南地域では飯島だけが本事業を実施していないため自治会に意向調査を実施。36自治会中31自治会で敷設の希望。5自治会は希望しないため対象外。

問 ドライブレコーダーを公用車に設置する考えは。

答 新車購入時は設置している。設置台数は50台中13台。

◆企画政策課

問 スマート農業推進事業の内訳は。

答 ロボット草刈り機・ラジコン草刈り機が4台、自動操舵の農業機械2台。

問 支障木伐採は所有者が行うべきでは。

答 水路や通学路がかかっており、緊急で町が実施。

◆建設水道課

問 カントリーエレベーターへの交通規制の要望は。

答 農協に要請を出した。農協では早々に検討し安全対策しているが、交通規制は不可能。要求に対する回答は後日。

◆地域創造課

問 光をそそぐ関連事業は、当初予算で5,000万円計上。なぜ補正が必要なのか。当初予算を限度に終了すべきでないか。

答 補助金を利用する人に限度があるとは示していない。年度途中で終了することは困難。

問 トレーラーハウスにウッドデッキの必要性は。

答 屋外で景色を見ながら、仕事・バーベキューの利用要望があるため。

問 利用者が増えることが最も重要と考えるが。

答 利用者のことを思って補正をしている。

町民にとって保険証はとても大切

社会文教委員会は、令和4年度決算案件4件・令和5年度補正予算案件4件の事業調査・付託を受けた2件の陳情審査を行った。調査・審査の時に出了た主な内容は以下の通り。

令和4年度決算

一般会計

◆住民税務課

問 マイナンバーカードの保有状況は。

答 決算時の保有者は5,056人。約300人が受け取りにきてない。

問 町営墓地の空きがあるか。

答 東小段に42区画。

問 可燃物・不燃物のごみの量が増えている原因は。

答 コロナの影響で増加した。可燃物はハードプラスチックの影響で計画より多い。

問 乾電池収集場所を増やせないか。

答 粗大ゴミ収集時に実施しているが、検討する。

問 固定資産税の滞納額が昨年より200万円多いが。

答 企業の倒産や担当職員が減少しやりきれないことが原因。

◆健康福祉課

問 ひきこもりサポーター派遣事業の状況と実績は。

答 中学卒業後は社協・教育委員会と連携。対象者の把握はしてないが、4人をサポーターとつなぐことができた。

問 自殺者は男性が多い傾向だ。男性向けの相談体制を。

答 次年度に計画の策定をするため検討をしたい。

◆教育委員会

問 保育士は足りているのか。

答 会計年度職員は高齢化していて、未満児の保育が難しい。

現在、保育士は足りているが休みがあると厳しい。

問 病児・病後児保育の利用広域化の要望があるが。

答 高森町・松川町の住民も利用できるように検討中。

問 プールの授業はB&Gだが、今後もこのままか。

答 先生方からは好評。生徒の意見は聞いてない。

国民健康保険特別会計

問 1人当たりの医療費が上がってきているが。

答 検診率が上がり、がんなどの早期発見により治療が増加。

介護保険特別会計

問 予防に力を入れているか。

答 フレイル※予防教室は参加者が多いので、令和5年は増やした。

※加齢により心身が老い衰えたこと。



いきいき元気な大人がいっぱい！

令和5年度補正予算

一般会計

◆健康福祉課

問 新型コロナワクチン接種の今後は。

答 令和5年度まで公費で実施。秋から冬の接種はネットと電話にて予約を受け付けている。

請願・陳情

趣旨採択とすべきもの

・国に対し健康保険証の継続を
参考人：上伊那医療生協

飯島支部 高坂 繁富^{しげとみ}氏

・「健康保険証」の存続を

参考人：長野県保険医協会

高橋 誠氏

質|議|

問 資格確認証に変更された場合のデメリットは。

答 発行に手間がかかり、オンラインシステムを導入しなければならない医療機関もある。

討|論|

趣旨採択 マイナンバーカードに紐づけることで町民にメリットがあり、一本化を進める必要がある。しかし、町民が納得できる形で運用できない場合には、保険証の継続をすべきである。

賛成 5 不賛成 0

紛糾した光をそそぐ関連事業

9月定例会は9月1日から15日までの15日間開催し、令和4年度決算認定6件・令和5年度補正予算6件・一般会計の修正案1件・その他1件・陳情2件・議員発議2件が提出され審査を行った。（採決結果は、P.9参照）主な内容は以下の通り。

令和4年度 決算認定

一般会計

主な質疑

問 職員の不足している課がある。国県への派遣は適正か。

答 農林水産省では補助金・国土交通省では企業誘致関係など繋がりができた。適正配置と考えている。

問 農業従事者の高齢化、小規模農家への支援問題、どのように考えるか。

答 ラジコン草刈り機導入など、スマート農業化を進める。小規模農家へ支援ができるよう国も検討を進めている。

討論

賛成 ひきこもりサポーター制度は町独自の施策で評価。人事面では職員のメンタルチェックを引き続き注視を望む。

国民健康保険特別会計

討論

賛成 検診・予防事業に取り組んでいることに評価。

後期高齢者医療特別会計

討論

賛成 検診率向上により早期発見に努めていることを評価。

介護保険特別会計

討論

賛成 フレイル予防などへの取組みを評価。新規重度介護者が横ばいで安定している。

令和5年度 補正予算

一般会計

主な質疑

問 光をそそぐ関連補助を今後とも続けていくのか。

答 人口増対策は喫緊の課題、3年計画のため継続したい。

問 このまま申請者の増加が続けば財政がひっ迫するのでは。

答 財政担当も確認している。

問 ウッドデッキ工事増の要因は。

答 これまでも少しずつデッキ工事を行ってきた。残る2棟も同様な整備を行いたい。

問 集会所にインターネット設置を5自治会は不要とのこと。町では全自治会に整備は行わないのか。

答 自治会の希望により実施。

修正案の提出

ウッドデッキをすべての棟に配備する必要はない。金額に差をつけて貸し出せばよい。

その他

滝ヶ原地区高齢者支えあい拠点施設の指定管理

アグリネーチャーにある公共施設の管理を株式会社U-LEAPに指定同意。

陳情

国に対し「健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める

「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める

議員発議

健康保険証利用に国民目線の改善を求める意見書

令和5年度飯島町一般会計補正予算（第5号）への付帯決議

- ・補正額の承認をするが、さらなる追加補正は容認できない。
- ・光をそそぐ関連補助金には、町内事業者若しくは町内事業者を含む事業体を利用すること。

討論

賛成 伊那谷の中で取り合っているだけ。対象外世帯は不公平感がある。過去にはお金をかけなくても実績がある。

反対 年度途中での変更は、住民へ迷惑をかける。

反対 出生数が減少。今年度は10人。若い世代に注目してもらえることは良い。

公開します〔9月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果　賛成：○　不賛成：×				結 果	伊 藤 秀 明	坂 井 活 広	折 山 誠	坂 本 紀 子	宮 脇 寛 行	浜 田 稔	三 浦 寿 美 子	堀 内 学	星 野 晃 伸	片 桐 剛	吉 川 順 平	久 保 島 巖	参 照 ペ ー ジ	
○… 賛成多数で原案を可決・認定・採択																		
×… 賛成少数で原案を否決・不認定・不採択																		
△… 原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択																		
令和４年度　決算認定（監査委員は評決に参加しない）																		注
一般会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6 p8	
国民健康保険特別会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p7 p8	
後期高齢者医療特別会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p7 p8	
介護保険特別会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p7 p8	
水道事業会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6 p8	
下水道事業会計	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6 p8	
令和５年度　補正予算																		
一般会計（第５号）	2億134万円増	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△			p6 p8	
国民健康保険特別会計（第１号）	2,604万円増	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○				
後期高齢者医療特別会計（第１号）	116万円増	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○				
介護保険特別会計（第１号）	3,543万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
水道事業会計（第２号）	255万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
下水道事業会計（第１号）	2,090万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
契約の締結など																		
町道南田切線道路改良工事に係る契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
滝ヶ原地区高齢者支えあい拠点施設の管理者指定		○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			p8	
請願・陳情																		
国に対し健康保険証の継続を求める		△	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			p7 p8	
健康保険証の存続に関する意見書の提出求める		△	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			p7 p8	
意見書																		
健康保険証利用に国民目線の改善を求める		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			p8	
付帯決議																		
令和5年度飯島町一般会計補正予算(第5号)に対する		○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×			p8	

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

町政を問う

9議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

吉川 順平 **食育 学校給食**
コーディネーターの設置を P10

伊藤 秀明 **レディースファーム**
今後の課題は P11

宮脇 寛行 **多面的機能支払交付金**
減額対策は P11

星野 晃伸 **企業誘致**
町の積極的な仲介を P12

折山 誠 **町長2期8年 課題の総括**
営業部の儲かるまちづくりは P12

坂本 紀子 **飯島町営業部**
目的は P13

三浦 寿美子 **上ノ原幹線農道西**
安全対策は P13

浜田 稔 **ワーケーション**
最初の方針から外れていないか P14

坂井 活広 **レディースファーム**
女性の働き易さを最優先すべき P14



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



食育 学校給食

コーディネーターの設置を

検討している 教育長

問 学校給食への地元農産物の利用には、地産地消に関わるコーディネーターが必要だが、設置の必要性は。

教育長 農業の知識が豊かな人材を中心に、コーディネーターをお願いしたい。



学校給食

マイナンバーカード

問 2024年秋に保険証を廃止しマイナンバーカードに一体化する。町の見解は。

住民税務課長 政府には慎重な対応をして頂きたい。

レディースファーム

問 トップリーダーの発掘・作物の選定・販売方法・人集めに対して今後どう考えるか。

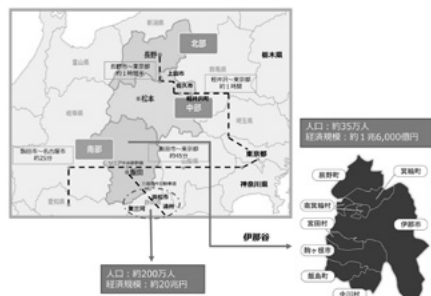
町長 6次産業までつないだ新

しい発想での展開が重要。女性に農業への興味を持ってもらうところから始めていく。

リニア・三遠南信の開通

問 町への経済と人口の影響は。単なる通過点にならないために今後、どうするのか。

町長 町の発展には、興味を持って住み続ける方が増えることが目標。様々な施策を打っている。



リニア・三遠南信交通網



レディースファーム

今後の課題は

雇用と就労のマッチング 町長

問 レディースファームの進捗状況と今後の見通し・課題は。

町長 近年出生数が減少しており、子育て世代と女性の町への定着を図る必要がある。農業の現場で働きやすく活躍してもらえることが目的。

産業振興課長 3つの事業を中心に進めている。

①就労モデル事業で、子育て世代の働く場づくりのベースとなる施設園芸を検討している。

②女性視点での商品開発や農産加工。現在、まめっ子ワークシ

ョップ※にて農産加工の製造を体験することで興味を持ってもらい、技術伝承につながればと考える。

③働きやすい環境を整備することで、子育て世代の雇用につな



女性が、がんばってます！

がればと考えている。

課題は、雇用側と就労側のマッチング。広く多方面や関係組織との打ち合わせを現在進めている。

問 バイオマス発電の経過は。

地域創造課長 調査結果では当初考えていた事業は厳しい。公共施設で使用している灯油を木質バイオマス利用に切り替えたほうが良い。

※町で農産加工品を製造している方を講師に、子育て世代を中心に加工品づくりを体験している。

▶その他の質問

- ・いままでとこれからの町政
- ・木質バイオマス分散型事業
- ・空き家対策(特定空き家)
- ・家庭エアコン購入補助

9月定例会では議員9名が登壇し町政を質しました。



多面的機能支払交付金

減額対策は

緊急農地防災事業で実施 町長

問 本年度の要望金額と交付金額の見込みは。

町長 要望金額3,988万円に対し65%の2,600万円の交付見込み。

問 畦畔や用水供給設備を有しない水田は、交付対象外と決定している。当町の状況は。

産業振興課長 現在のところ対象外はない。交付対象となる水田の詳細がやっと通知された。それに従い対象農家に案内する計画。

問 スマート農業推進事業では要望が多いため補正を組んだとのことだが、どのような施設か。

また、小規模・兼業農家から申請はあるのか。

産業振興課長 直進アシスト付※トラクター4件・ラジコン草刈機2件・自動水門※2件の申請があった。小規模・兼業農家から1件となっている。

問 移住就農者の収入状況を把握しているか。また、増収となる指導や提案は行われているか。

産業振興課長 新規就農は軌道に乗るまで経営収支は厳しいと承知している。農業事業者に補助金を含めた支援をしている。

飯島流ワーケーション

問 熱中症の危険性がある中で農業体験は行われたのか。

地域創造課長 7月は地域貢献型プログラム※で果樹の摘果や草刈りを、8月は野菜の収穫体験を行った。

問 ヒーリング効果は確認されたか。

地域創造課長 分析中である。ストレスが緩和され、一定の活力が生まれた可能性がある。

※直進アシスト付…設定どおりの間隔で直進する機能

※自動水門…水口を全自動で開閉

※地域貢献型プログラム…地域の農業事業者の手伝いをするプログラム

▶その他の質問

- ・公共施設等総合管理計画



星野 晃伸

企業誘致

町の積極的な仲介を

しかるべき時は出向く 町長

問 町は企業誘致にどのような広報をしているのか。

町長 第6次総合計画に沿って町の特徴を生かし、長野県立地ガイドや町ホームページに掲載。

問 企業誘致を進める土地の確保はあるのか。

産業振興課長 現在の工業団地の売却は進み、保有土地は品薄。参入企業の要望に沿った土地を選定する。

問 自治会や個人と企業のトラブルはどのように対処するのか。

町長 自治会などから係に連絡

をもらい調整する。しかるべき時には出向く。



企業誘致した2社

町の歴史保存

問 町の昭和初期の歴史保存は。

町長 文化財調査委員会に託し写真などの保存に努めたい。

防災訓練

問 毎年、自治会主導で実施しているが課題は。

町長 各自主防災会からの報告をまとめ、情報共有と意見交換を実施する。

問 日本語の分からない外国人へ周知・参加の呼び掛けをしているのか。

町長 町ホームページの翻訳機能を使い周知している。



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



折山 誠

町長2期8年 課題の総括

営業部の儲かるまちづくりは

コロナの影響を受けた 町長

問 移住定住施策の多額な補助金は、財政悪化を招き、住民要望の先送りが心配。

人と人を結ぶネットワークの構築などに重点を置くべきだが。

町長 来年度まで3年間の施策。ハード面の支援とソフト面の醸成、バランス良くと考えている。

ワーケーション事業

問 目標には遠い実績だが。

町長 地域の資源を結びつけ、田舎の底力を発揮する布石。

飯島町営業部

問 儲かる町をつくるという公約の現状は。

町長 5部会それぞれに取り組んだが、コロナの影響を受けた。今後は皆が集まり、話し合う過程で大きなものが生まれてくる。

企業誘致

問 バイオマス発電施設建設の白紙化・企業の移転など課題に向き合おうとする姿勢が希薄だ。

施策に対する町民への説明責任を果たすべきでは。

町長 議会への説明も説明責任の一つ。議員も町民への説明責任を果たすよう活躍されたい。

お花畑構想

問 今後の進展は。

地域創造課長 現在、あぐりの丘でポピーを楽しむことができる。しかし、規模の拡大は難しい。



2万人の人出でにぎわった
かつてのコスモス祭り



飯島町営業部

目的は

住民が活性化すること 町長

問 営業部は何を目指していたのか。

町長 町づくりは住民が主役。多くの人が参加し、事業をやることで住民が活性化する。

お金儲けのために集まったわけではない。

問 参加者が減った中、8年間の評価は。

町長 自然部会の町民の森・傘山のルート整備は大きな遺産。有志がクロモジエキスなどを商品開発。コロナで気力の減退だが、新しい活動にチャレンジ。

環境循環ライフ構想

問 飯島流ワーケーションの進捗状況と課題は。

地域創造課長 現在、宿泊目標に対して87%。長期滞在ではない。農業の担い手は現れてない。

問 水力発電の状況は。

地域創造課長 現在、新設の「越百のしずく発電所」と「与田切発電所」の大規模改修工事をしている。町の小水力発電計画はその後の取り組み。

町長 メリットは「越百のしずく発電所」は別の谷から取水し濁らない水であり、町で使える。経費はかからない。

問 アグリイノベーション2030の状況は。レディースファームの問題は。

地域創造課長 木質バイオマス発電は白紙。レディースファーム事業の中で検討中。

町長 発電ではなく、熱を農業や福祉で考えている。

産業振興課長 就労モデル事業として子育て中の母親の働きやすい職場として、施設園芸を検討中。経営は民間の事業者。

▶その他の質問

・民生児童委員の懇談で出された問題点

9月定例会では議員9名が登壇し町政を質しました。



上ノ原幹線農道西

安全対策は

三浦 寿美子

歩道設置が一番 町長

問 稲刈りが始まり大型車の交通量が増える。カントリーエレベーターが稼働する前に、安全対策を検討するとのことだが。

建設水道課長 歩道設置が一番の安全対策と考えている。本定例会で調査費を計上。スピード感を持って取り組む。



一刻も早い歩道設置を

お金では解決できない 草刈り

問 高齢化により「草刈りが体力的に厳しい」・「お金をもらってもできない」との声があるが。

建設水道課長 自治会や個人農家からの相談も増加し、深刻な問題と捉えている。

国・県道は管理者に引き続き要請する。職員の雇用・傾斜の大きい法面へ防草シート利用・ラジコン草刈機の活用などで対応したい。地元の皆様にも引き続き協力をお願いしたい。

高齢者補聴器助成、 対象者拡大

問 近隣では、65歳から対象となると多い、町も対象を引き下げてはどうか。

健康福祉課長 次年度の実施を検討している。

長期休み、支援策は

問 自宅で過ごす子どもが多い。町で実態を把握しているか。

教育長 学童保育や子ども広場などで把握しているが、自宅での過ごし方は把握していない。

問 学習支援は行われているか。

教育長 「おにぎりゼミ」という学習支援を行っている。中学生・小学5・6年生対象に11日間、1日3時間行った。



ワーケーション

最初の方針から外れていないか

変化対応が必要 町長

問 トレーラーハウスの利用は低迷したままで、今年度前半は町民のお試し居住を加えても宿泊稼働率は13%だ。宿泊は土日偏り「仕事をしながら田舎で過ごす」という利用法からほど遠い。

見過ごせないのは、宿泊者がゼロなのに26人がストレスチェック実施などの例があることだ。検査数を積み上げる操作ではないか。

地域創造課長 農業体験と宿泊は別の事業扱いで実績を出して

いる。

問 飯島流ワーケーションの当初予算説明では「都会の企業社員を招いて農業で癒しを得られる体験をしてもらい、関係人口を増やす」との趣旨だった。

当時の議会は懐疑的で「トレーラーハウスは2台でスタート」との修正案が1票差で否決されて今に至っている。

最近は「リニア開通を見据えた事業だ」との答弁もあったが方針は変わったのか。

町長 ハウスは5台の方が訴求

力があるが1～2年では認知されない。荒波の中を潜り抜け、状況によっては泳ぐ必要もある。時代時代に対応するが、基本は変わっていない。



連休なのに人の気配がない!

アグリネーチャーは県外からの20人を越える宿泊客で賑わっていた。

▶その他の質問

- ・木質バイオマス発電企業の誘致を求める。
- ・マイナンバーカードの安全性に対する町の認識を問う。



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



レディースファーム

女性の働き易さを最優先すべき

農業のあり方を考える 町長

問 町では、レディースファームの設立援助・投資等を計画しているが、詳細は。

町長 実施主体は、民間の新法人を設立して行う。

資本金・雇用予定者数・栽培予定の野菜・販売先等は未定。野菜に関して、町内業者とのバッティングは避けたい。

問 全国的に農業従事者は激減している。若い女性が農業をするには、「汚れる」・「虫がいる」など、非常にハードルが高い。成功している企業はこの点

のケアがよくできているが、町の方針は。

町長 きれいな所で格好よく働けるという農業のあり方を考える



汚れない・虫がない

る必要がある。

問 仮に、既存事業者から「農業を軽く見ている」などとして軋轢が生まれても、企業を守っていけるのか。

町長 他の農家と調整を図りながら進めていきたい。

子ども置き去り防止装置の設置

問 スクールバスには、安全装置は設置されているか。

教育長 設置されていないが、確認の徹底は行われている。

問 置き去り事故は全てヒューマンエラー。安全装置自体は約10万円、補助金が8万8000円出る。設置すべきではないか。

教育長 検討する。

30人寄れば文殊の知恵

議会は今年6月「まちびと政策プランナー会議」を中学生・高校生を含めた18人の応募者と議員12人で発足した。老若男女が和気あいあい・議論百出で、良い結果が期待できる。

経 過

・全国正副議長会で「住民参加の政策モニター制度」が注目される中、当町議会は1歩先の「住民参加で、政策を企画立案して提言していく」会議を創出し委員の公募（議員推薦含む）を開始した。

第1回 6月24日

・ワークショップで「飯島町のいいところ・悪いところ」を出し合った。

3分科会の構成

会議の委員を「教育福祉グループ」・「産業観光グループ」・「行政議会グループ」の各グループに分け、検討をしていく。

第2回 7月22日

・プランナーの1人から「バイリンガルの町に」という内容で町への熱い思いと意見を聞くことができた。
・今年度のテーマ選出検討、今年度のテーマの絞り込み。

「教育福祉グループ」

教育・食・保育子育て・医療に課題がある。食と教育、オーガニックはJAと生産者の協力が一番。子育てで悩んでいる人困っている人の調査。

「産業観光グループ」

農業をどうするか。観光はロケーションがよいのでPRを。

「行政議会グループ」

自治会の問題として移住者への説明不足。町への理解を小中学生に分かりやすく学んでもらうには。中学生に話を聞きたい。

第3回 8月26日

今年度の検討テーマ決定。

「教育福祉グループ」

- ①オーガニック学校給食の取組推進
- ②不登校児への対応改善
関係者などと懇談を行い課題の抽出する独自の活動。

「産業観光グループ」

- ①町の観光情報発信の見直し
- ②町の文化などを再発見

「行政議会グループ」

- ①小中学生の活動に町から予算をつけて関心を高める
- ②自治会の今後のあり方

今後の予定

第4回 10月14日

各項目の課題を精査し、どうすれば実現可能かを検討する。

第5回 11月11日

各グループからの提言・改革案をまとめて、提言書・提案書を作成する。

町長選終了後、早い時期に正副議長・グループ長・書記で町長に提言書を手渡す。

第6回 2月10日

反省・まとめの会

今までは、意見を聞き、議員・議会がどう対応するか検討や活動をしてきた。

この制度は、課題を解決するにはどうするかを、中高生を含めた住民と政策立案していくもので、期待も大きい。

議員が体験した「自分の提案が事業化や予算化された時の喜びは絶大」の感想を住民の人にも味わって貰いたいとの思いで始まった。

次年度開催の節は奮って応募を。



プランナーの1人として「保育園児に日常英会話を教えたい」

借上型町営住宅、県内初の試み！

議員全員で毎月会議を開催し、協議をする。内容は以下の通り。

7月19日

1. 地域のDX等に関する包括連携協定

2. 飯島町デジタル田園都市国家構想戦略

デジタル技術を活用して人口減少に対応するための施策。

3. 百閒ナギ崩落対策

現時点では大きな変化は見られない。

4. 城ヶ池東窪地の盛土工事

5. ふるさと飯島奨学金返還支援補助金事業

30歳以下の奨学金返還者に対して最大5年間で年間24万円を限度として補助を行う。

8月17日

1. 飯島町子育て世帯支援特別給付金(低所得者)給付事業実施

町民税所得割が非課税である子育て世帯に対して児童1人あたり3万円を給付する。

町民税非課税の対象者には、国から同様の給付がある。

2. 価格高騰に対する低所得者支援事業所

住民税所得割が非課税である世帯と家計急変のある世帯に対して1世帯あたり2万円を給付する。

町民税非課税の対象者には、国から同様の給付がある。

3. 商業施設用地造成事業

令和6年の夏オープン予定。

4. アグリネイチャー飯島の事業承継

5. 飯島町借上型住宅事業

民間事業者が新築する住宅を町が借り上げて町営住宅として町民へ転貸する方式。

町が直接建設するよりも安くなると想定している。

問 空室が出た場合に家賃を町が負担するリスクがあるが。

答 満室分の家賃を収める必要がある。現在入居されている方の希望を聞きながら住宅を建てていく。

問 町営住宅の入居者は高齢者や事情を抱えている人が多い。

使いやすい住宅が望ましいが。

答 整備基準にバリアフリーなどの条件を設ける予定。

9月15日

1. 飯島町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

問 町の山林はすでに伐採する時期にあり、二酸化炭素の吸収率が下がっている。維持するための具体策は。

答 吸収量を維持していくための施策をしていく計画となっている。

2. 介護保険料の遡及賦課誤り

本来、保険料の還付期間が2年間であるところ、5年間分を

還付したことが判明した。この還付誤りの返還は求めない。

正確な情報把握を行い、誤りのないよう努めていく。

3. 商業施設用地売却

契約額が5,000万円未満なので9月定例会での議決が不要となった。

商業施設の出店は、ディベロッパー事業者(土地建物管理)と商業事業者が別々の場合が多い。造成用の土砂を国交省から貰えることになりその分金額が減額した。

4. 特定空き家等の行政代執行

南街道にあった危険空き家の代執行が終了した。

費用の徴収は、除却した建物のあった土地を収用して相殺。

上伊那広域連合議会

1. クリーンセンター八乙女の改良整備事業

2. 消防指令業務の共同運営検討開始

伊南行政組合会議

1. 伊南行政3か年実施計画

2. 伊南福祉会決算概要

3. 新病院建設進捗状況



商業施設が早くオープンするといいな。

いいまち 議会だより モニターのひとこと

第103号 広報紙面に対するご意見

1. 表紙

- ・子どもの姿は見る人を元気にしてくれます。
- ・白組の娘が、『どうして赤組だけなの！』と言っていました。(笑)
- ・活気があって気分が明るくなる写真です。
- ・昔の運動会を思い出し、懐かしい思いがしました。
- ・背景に空の写真で文字がしっかり見え、写真の中に文字があるよりもすっきりして良い。

2. 特集ページ「自治会懇談会」(要望を含む)

- ・マイノリティの意見も大切だが、そればかりに流されない町であって欲しい。場面を考えた対応を！
- ・子育て支援と環境整備の今後の進展に期待しています。
- ・「どうする飯島」では、町の声が届いていることが嬉しい。今後も続けて欲しい。
- ・各自治会から出された意見・疑問は『全くその通り！！』と同感しながら読みました。住民の意見を拾って回答も出してもらえる特集は良いと思いました。本年度も是非実施してください。
- ・住民懇談会で自治会や町への要望、高齢化や少子化による住民の不安が感じられました。
- ・写真やイラストも工夫され意見・回答もすっきりまとめられていた。

3. 定例会・各委員会

- ・柏木グラウンドの国スポ計画が気になりました。場所が良いので、テニスコートなど様々なスポーツが出来る場所になって欲しい。

- ・「おいしい水」の値下げ対象家庭数はどのくらいですか？
- ・家庭水道料の値下げは助かります。
- ・県内で下位の水道料の高さ。水道管などの事情もありますが、値下げは嬉しい限りです。
- ・ギネス申請費用はどのくらいかかるのですか？ 関係人口増加とは？あまりにも短絡的な考え方のように思えるが。
- ・コロナ予防接種予約システム導入で「仕事が軽減できる。」との回答。任意接種に移行するのにインターネット予約が必要か疑問です。

4. 一般質問

- ・毎回内容がわかりやすくまとめてあって良い
- ・体育館のエアコン設置はお金がかかるかも知れませんが避難所考えた時には賛成です。
- ・Jアラート避難ですが、町として各区ヘシエーターを作る考えはあるのですか？
- ・10年で24人の自殺者がいることに正直驚き。相談環境の工夫をして実践してほしい。
- ・百閒ナギ崩落に町の危機感が欠如している。識者に視察してもらい対策すべきでは？
- ・物価高騰対策で町がすぐに対応し、お盆前に商品券発行が始まりとても助かりました。
- ・町長の対応をもう少し詳しく掲載してほしい。

5. 全体を通しての意見・要望

- ・Googleフォーム形式のアンケート良い。とてもやり易い！
- ・「あれどうなった」のコーナーを充実するとさらに議会だよりが身近になると思います。
- ・「DX」とはということかよくわからない。わかるように注意書きなどがあるとありがたい。
- ・わかりやすいので、いつも読ませていただいております。
- ・町に仕事がない。雇用が広がってほしい。
- ・商業施設誘致の記事が嬉しいです。今後の進展も教えてほしい。

追跡

あれ
どうなった

一般質問・審査での意見
請願陳情その後のゆくえ

1. 水道水の中川村への供給を（平成27年9月 折山議員一般質問）
その後→令和4年7月1日緊急分水から水道用水の供給に移行
（セラミックの南の管）
令和5年3月には2本目（越百園前の管）を接続。
水道会計から工事費 285万円。
6月議会で口径13mmの基本料金が250円値下げされた。

2. 本郷グラウンドのトイレの改善を（平成29年12月 三浦議員一般質問）
その後→令和3年度一般会計
バイオマストイレ新設 960万円。

町民の声を議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回は、日方磐神社祭典委員長の倉澤敏彦くらさわ としひこさんに登場していただきました。

復活した秋祭り

明治期に周辺の6社が合祀されて田切に誕生した日方磐神社。また、田切にあった3つの村（北河原・中平・南割）が統一され、大正・昭和から獅子舞と花火が続けられて、現在まで継承されて来た奉納行事。

新型コロナウイルスにより丸3年にわたった行動規制の影響で、1年目は中止、2年目は打上げ花火のみ、3年目は無観客で庭花火・三国及び打上げ花火を実施し、少しずつ復活を遂げて来ました。行動規制の解除を受けて今年は、コロナ前と同じようにしようと祭典委員会の年番である追引自治会で計画しました。



みごと!! きれい

奉納行事の準備や運営は、田切地区の6つの自治会が順番に年番として祭典委員会を担当します。年番制になって6巡目の担当になります。以前は、祭典

青年会が実施していた時代もありました。



手をたたかないで!

祭典委員会は部会（庭花火部会・三国部会・番付編成部会など）を設けて役割分担をし、事前準備や当日運営を行います。また、全体・会計・事務などを統括する4役を置き、各部の連携や調整を図ります。にわか組織ですから、それぞれが思うように進まず、連絡不足やトラブルがあったら、お互いの思いやりや協力で進めていかなければいけません。

祭典委員会の設置は6月中旬です。神社や田切区の役員を含めた協議の場を経て、祭り当日までの計画や日程が決まりました。宵祭り当日の運営には年番以外の氏子の協力が欠かせません。また、祭りのお金は氏子全体で負担します。

各部会の活動では、花火寄付

の募集から番付の作成・大三国の筒の木の切り出しから火薬詰め・獅子舞の屋台の飾りなどに用いる獅子華を作る・駒板などを作り文字を書き入れる・当日は消防用の水を汲み上げ、など。多くは前例踏襲とはいえ、たくさんの労力や作業を積み重ねて宵祭り奉納行事本番を迎えます。

今年は好天に恵まれ、地元の獅子舞保存会による獅子舞・小学生の獅子招き踊り・煙火店が丹精を込めた花火の数々など、このような祭典をまた来年も実施できると良いと感じました。

町や議会に望むこと

祭典委員会の編成時の苦労がありました。続けるには多くの若い人が必要。

これからも継続できるように多くの町民のみなさまのご協力をお願いします。



みんなでわいわい

議会だより



詳細はP.8

〈問題〉議会の判断が分かれた付帯決議の内容は、

光を〇〇〇関連補助金

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は11/30、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ、いいちゃんポスト・QRコードで、飯島町議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 久保島 巖

編集委員／◎堀内・○坂本・伊藤・坂井・宮脇・片桐

あなたの声を議会だよりへ ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp